

会議録

会議名称	令和7年度 第2回愛西市行政改革推進委員会	
開催日時	令和7年10月28日(火) 午後3時30分から午後5時まで	
開催場所	愛西市役所 南館1階 会議室1-3、1-4	
出席者	別紙のとおり	
欠席者	山田 倫典、鈴木 幸子、大倉 菜々子、服部 磯和、稲垣 万貴子 平野 伸弥、神田 倫代	
公開・非公開	公開	
傍聴人の数	0人	
審議事項等	●審議事項 (1) 第4次愛西市行政改革大綱(案)について	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料 第4次愛西市行政改革大綱(案) ・進捗管理指標(当日配布) ・第3次愛西市行政改革大綱冊子(当日配布) 	
審議経過	別紙のとおり	
議事録の確定		
確定年月日	署	名
令和7年12月6日	署名委員 大橋 理絵	

愛西市行政改革推進委員会委員

役 職	氏 名	備 考
会長	千頭 聡	
副会長	加藤 洋平	
	住田 宣子	
	水越 悟	
	横井 研二	
	山田 倫典	欠席
	平野 伸弥	欠席
	神田 倫代	欠席
	鈴木 幸子	欠席
	稲垣 万貴子	欠席
	大倉 菜々子	欠席
	大橋 理絵	
	後藤 理夫	
	佐藤 輝彦	
	服部 磯和	欠席

職務のために出席した職員

役 職	氏 名	備 考
副市長	清水 栄利子	
教育長	河野 正輝	
総務部長	井戸田 悦孝	
市民協働部長	山岸 忠則	
保険福祉部長	田口 貴敏	
保険福祉部参事	青井 優	
健康子ども部長	人見 英樹	
産業建設部長	宮川 昌和	
産業建設部参事	小原 智宏	
上下水道部長	山田 英穂	
教育部長	佐藤 博之	
消防署長	伊藤 政儀	
総務課長	伊藤 靖幸	
人事課長	加藤 貴也	
財政課長	堀田 毅	

事務局

役 職	氏 名	備 考
企画政策部長	西川 稔	
企画政策部参事	大森 知孝	
企画政策部経営企画課長	渡邊 典夫	
企画政策部経営企画課課長補佐	若松 孝志	

審議経過

発言者	内容（概要）
事務局 (経営企画課長)	<p>1. あいさつ 資料の確認 会議の成立[愛西市行政改革推進委員会設置条例第6条第2項] 会議の公開と傍聴人について（傍聴人0人） [愛西市行政改革推進委員会運営規程第3条] 会議録の作成[愛西市行政改革推進委員会運営規程第4条]</p>
会長	<p>〈会長あいさつ〉</p>
副市長	<p>〈副市長あいさつ〉</p>
会長	<p>2. 議事録署名委員の指名 〈議事録署名委員として大橋 理絵委員を指名〉</p>
事務局	<p>3. 協議事項 (1) 第4次愛西市行政改革大綱（案）について (資料 第4次愛西市行政改革大綱案について説明)</p>
会長 (千頭聡)	<p>はい、ありがとうございます。主に前半でご説明いただいた愛西市行政改革大綱をご議論いただくというのが、今回の話です。 何かお気づきの点があればお伺いしましょうか。全体をご説明いただきました。今日は皆さんに少なくとも1回はご意見をいただければいいと思います。 その前にどういう意味なのかと言うご質問があれば先に出していただきたいと思います。 何かご質問はありますか？</p>
委員	<p>9ページの職員について書いてあるところですが、その中の会計年度任用職員というのは、契約の職員だと思いますが、育児休業者の代替職員や職員の補助教員と書いてあるのですが、他にも介護休暇とかあると思います。これらの方の割合はどのくらい該当するか分かりますでしょうか？</p>
職員	<p>会計年度任用職員のご質問いただきました。細かい数字を持ち合わせてなくて申し訳ないですが、育児休業は20人弱が対象ということになっております。令和7年度から小中学校教員の働き方改革ということで、校務支援員や部活動指導員もそうなのですが、教師の方ではなくて、</p>

	<p>会計年度任用職員で採用しており、この部分が 30 名ほど、数字としては上がっています。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。そうしますと、50 名ほどが新規で対応したということですね。残りの 250 名はいわゆるパートの方ですか。その辺りは正規職員では無理だという理由はありますか。</p>
職員	<p>会計年度任用職員は、一般事務につきましては、基本的には事務補助という形で採用させていただいております。専門職、保健師、保育士、介護認定に関する業務、そういった業務に関することにつきましては、専門の方ですけれども、職員が専門の知識を全部有しているわけではなくて、会計年度任用という形で仕事をしてもらっている。</p>
委員	<p>窓口へ行って、話を聞くと職員の方よりもパートの方がよく答えてくれるという話を聞きます。専門職の方はもちろん職員よりもよく知って見えませるので必要だということですね。</p>
職員	<p>専門の方に来ていただいております。特にそういった業務につきましては、専門的知識を発揮していただいて、仕事をしておりますので、なかなか職員では行き届かない部分についても、会計年度任用職員の方をお願いするということです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 前半のところのご質問の中にありましたけれども、この方々を正規職員として雇えない理由を簡潔にいかがでしょう。</p>
職員	<p>保健師、保育士も正規職員で採用はさせていただいていますが、一部をお手伝いいただきたいということでお願いしています。補助をいただいているというところでございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ご質問としてはよろしいですか。 他に質問ございますか。</p>
委員	<p>(2) の基本方針に関して、廃止施設数は令和 7 年度 3 施設、11 年度には 11 施設の廃止ということですが、差支えなければ、どこの施設を廃止されるか教えていただけないですか。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。</p>
財政課長	<p>令和 11 年度プラスの 8 施設です。施設計画の中で、廃止の方向性が出ている施設について、今後、その廃止を具体的にどのように行っていくかスケ</p>

	<p>ジュール等まだ議論を現在進めているところであります。対象の施設が指定管理等の期間が終わる段階ですべて廃止ということになった場合を想定して、計上しております。</p> <p>そのため、すべての施設が廃止となるわけではありません。指定管理等の期間が終わる施設を上げています。例えば、コミュニティ施設です。</p>
委員	<p>特にどこの地区のどこのコミュニティとか、そういうことは考えていないのでしょうか。</p>
会長	<p>個別の施設名が出せるならもちろん出していただいてもいいのですが、なかなか今の段階で決定でなければ、どういうプロセスで実際に廃止の可否を検討するか、地域の方とのやりとりだとか、簡単にプロセスだけちょっと紹介いただいてもいいかもしれないです。</p>
職員	<p>個別の施設名は差し控えさせていただきますが、先ほど会長からお話されたように、今後、個別施設計画で廃止の方向性が出ているものについて、具体的な廃止のスケジュールあるいは手順等を検討します。それから、その施設の利用者、利用数、利用率等そういうものを検討した上で、どこの施設がまず廃止ができるのか、どこの施設はまだ廃止をするまでもないのか、あるいは廃止ができないのか、というようなところの議論を進めていった上で、という形になります。</p> <p>当然、その施設の方向性が定まった時には、市民の皆様に説明をする機会が来ると思っております。</p>
会長	<p>私が補足すると、その上に削減面積というのがあって、これは公共施設等総合管理計画に基づいて面積でどれくらい減らしていきましようかという計画が出されており、基本的にはこの計画に沿うように該当する施設を、その時々で探していくという感じで、結果的には今のところ 11 になっているという感じかなと思います。この補足で合っていますかね？</p>
職員	<p>はい</p>
会長	<p>という事ようです。</p>
委員	<p>そうすると、次のページの市有地の処分というのは、同じように今後の検討課題としてあげられますか。</p>
職員	<p>16 ページの市有地の処分手続きに関することについてですが、これは利用がない土地施設ですので、先ほどの 15 ページのものは今使っている施設、いわゆる行政財産であったりということになりますけど、この 16 ページは今現在使っていない、いわゆる普通財産のものになりますので、こちらは</p>

	<p>なるべく売却であったりとかいうような形で活用をしていきたいという風なものになります。</p>
委員	<p>そうすると、これはもうどこの地域の何かというのは公表できるわけですか。</p>
財政課長	<p>例えば、ホームページの方でも公表していますが、いわゆる公売をかけさせていただいている土地というところが、更地、現在ホームページの方で今2件出させていただいていると思います。草平と、諏訪です。そちらのところがホームページで公表させていただいているところです。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>他に何かご質問ございますか。</p>
委員	<p>資料の1ページと5ページを両方見ながら確認させて頂きたいと思います。まず、5ページの一番上です。実質単年度収支の中で、平成29年度は6億、平成30年度は3億円。令和1年度は5億5000万、令和2年度は4億円。それから令和5年度が3億円5000万、令和6年度が10億というマイナスなっています。</p> <p>下の基金残高の推移ではピンク色の部分が財政調整基金であり、ずっと右肩下がりになっています。平成29年度財政調整基金は72億あったものが令和6年度には41億に下がっている。この8年間の間に約31億減少しています。</p> <p>また、グリーンの部分はその他の特定目的基金であり、例の基金だと思いますが、おそらく10年以上使うことはできません。</p> <p>この8年間で30億減少している。現在、中期財政計画において、今後8年間でどのぐらい財政調整基金を使うかっていうことを考えているか教えていただきたい。</p>
会長	<p>質問として、財政調整基金をどれぐらい崩す予定、見込みかということですかね。</p>
職員	<p>財政調整基金は平成28、29年をピークに右肩下がり、減少傾向です。現在、中期財政計画について作成している状況です。令和8年度の予算についても、現在各課の方で、予算編成を行っている状況です。財政計画については、起点となるのが令和8年度ですので、精度を上げるために、各課バランスのとれた歳出予算規模にするため、いろんな事業について見直しているところです。</p> <p>財政計画について今回お示しできておりませんが、財政調整基金が枯渇に至らないよう調整をしながら、計画を立てています。</p>

	<p>今回推進プランにより、まだ確定した数字ではありませんけれども、示しているところではあります、まだ調整中とご承知おきしていただきたいと思えます。</p> <p>また債券の話については、基本的に一括運用しておりますので、財政調整基金、公共施設整備基金、その他基金、全て同じような状況だということを申し上げます。</p>
委員	<p>中期財政計画は作っていますか。10年若しくは8年後の財政計画を聞きたい。平成29年から令和6年までこの8年間で30億円の財政調整基金が減っているわけです。税収も減っているから、財政調整基金から崩さなければならぬという話だと思うのですが、特定目的基金があれば、それを使えばよい。だから、今は僕の感覚では使えないのではないかということを行っている。その使えない状況の中で、今後8年間、財政調整基金から取り崩してやっていけるか、それを心配してお伺いしている。財政調整基金をずっと取り崩していくという話であれば、税収も入ってこない、金も変わらないため、どこかで破綻するわけです。今大きな事業をやっている中、委託料とか、補助金とかを精査せずに行うことは非常に危ないと思う。だから、8年後どういう風になっているかということも数字で示して教えてほしい。</p>
会長	<p>数字でどうということも教えていただければ、この議論が先に進むと思いますけど、どうでしょうか？それは今、作成をされているってことですか？</p>
職員	<p>はい。</p>
委員	<p>中期財政計画というのは毎年作っているわけです。</p> <p>例えば去年作ったもので8年後はどうなっているかというのを見せていただければ分かるはずですよ。</p> <p>やはり、今委員として参加している以上、そういった情報を知った上で、色々意見を言わないと進んでいかないと思えます。</p>
職員	<p>ご心配いただいているということで、ありがとうございます。財政的なことについては、先ほど申し上げましたように、総合計画の中で8年分の財政計画、令和15年までのところについてお示しできるよう準備をしているところです。ただ、その起点となる来年度予算について、今各課で策定の方をしているところです。当然、財政調整基金については、先ほどのグラフのところでも、令和5年度、6年度と大きく取り崩しているところを踏まえまして、委託料の見直しや不要な予算計上など来年度の予算編成において大幅な見直しを、市全体で行っております。</p> <p>財政調整基金を大きく削ることのないような、財政計画ができるような形で作成させていただいております。</p>

	<p>今現在は、具体的な数字というところは、まだ試算という形で定まっていないため、ある程度固まった段階で、お示しができればというふうに考えております。</p>
会長	<p>という状況ですので、それを踏まえて、ご意見を頂けるかと思えます。</p>
委員	<p>分かりました。将来はこういう数字になるということを提示して頂いて、議論して行かないと、議論が進みませんので、その辺りの資料を出して頂くようお願いしたいと思います。</p> <p>今度必ず、お渡しいただくようお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。それで、財政課長にお伺ひしたいのですが、今後8年間、課長の予測として、市の財政状況はどういう風に予測していますか？</p>
会長	<p>どういふお答えを想定されているかというのはちょっと難しいですが、どうぞ。</p>
職員	<p>今年度、先ほど申し上げたように、大きな財政改革を行い、次年度予算以降、財政のスリム化を現在行っている状況です。</p> <p>当然、その財政改革は今年度で終わりではなく、来年度以降も引き続き行っていかなければならないと考えます。先ほど申し上げました人件費、扶助費、場合によっては以前のコロナのような危機的な状況あるいは災害というところもございしますので、不測の事態に備えて、今後も財政改革を引き続き行っていくことで、持続運営は可能だと考えております。</p>
委員	<p>わかりました。課長さんはそういう風に考えているわけですね。私は非常に危ないという風に考えておりますので、それに対し今後議論をさせていただきます。</p>
会長	<p>他に何かご質問ございますか。ご質問を付加させて頂いても構いませんけれども、せっかくですからお一人ずつ、行政改革大綱について、これでパブコメをかけていいのかどうかという点でご意見があれば、お聞きしてよろしいですか。</p>
委員	<p>12ページの基本方針について感じたことを述べさせて頂きたいと思っています。まず基本方針の1「ヒト」です。能力評価及び業務評価による人事評価ですが、徹底して欲しいと思います。</p> <p>徹底する理由は、双方向の対話が極めて重要です。評価する人、される人、定期的に、なぜこういう評価になったかということ個別具体的にされた方が理解するまで、徹底的に話し合いをして欲しい。</p> <p>それが個人の能力と意識を高めることにも絶対的に繋がってきます。一方</p>

的に、あなたの評価はこれだと言うことであれば、意欲に欠けることに繋がりがねません。それから2番目の専門研修の実施、職員のスキルアップを目的とした研修への主体的な参加。

これも是非やって欲しいですが、これは総務省や県の用意された研修ではなくて、外部研修等に是非出して欲しい。私が現役でいた頃に、採用されて3年目ぐらいの若手職員を半年間ぐらい、研修で預かった事があります。その皆さんが入って来た頃と半年経って出られる時に、視野が広がった、こんな事もあるのですか、というような経験を積み、感謝された記憶があります。

それから指定された研修、地方地公務員法、これは基本的な事ですのでやって下さい。

愛西市の職員研修計画も、先ほど申しあげた事を含めて、短期ではなくて少し長期に、3年、5年なりの評価をする。そして具体的に研修計画、例えば今回の内閣でも、女性の登用が足りないと言われてはいますが、若手の部長を抜擢するとか、そういう、働く意欲を刺激するような計画を立てて欲しいと思います。

漠然と年功序列でという形のものを匂わすのではなくて、もう徹底的に思い切ってやる。こういうことをしないと、職員や今の若い人達はなかなか育たないと思います。それから組織・機構の見直しですけれども、これは中にいないとよく分からないのですが、基本的に、従事者の福祉の推進、増進の観点から、基礎的な考え方を忘れないでやっていただき、合理化も進めていただきたいと思います。

それと出来るだけ部長は団体の集まりや会議など、そういったところに向き、現地の人たちの声を聞いていただきたい。

それを組織改革の見直しに繋げていただきたいと思います。具体的なことを申しますと、私は民生委員をやっていますが、市の職員が出た記憶がない。ましてや課長部長だかの顔も知らない。

それで市の民生委員の75歳以上の独居老人、あるいは老人の方々の福祉の動向について、我々だけで話をしているような状況ですので、これは他のところにもあるかもしれませんが、できるだけ外に出て、いろんな組織の話、いろんな人の話を聞くということをベースにして、組織の改革、機構の見直しをしてほしい。

それから、ワーク・ライフ・バランスの推進。これは簡単に書いてありますが、非常に難しいです。私がいた組織では、20何年前からこれをやりました。

ノー残業デーの実施、時間外給与の削減。これが目的になってはだめです。ノー残業デーだから、はやく帰る、あるいはどこに行くぞということではなく、時間外、給与の削減するためには、何をしたらいいかということ、自分の仕事から導き出して、業務の合理化をした上で、ノー残業デーをやって、時間外の給与の削減をします。この意識がないと、流れます。水曜日ノー残業デーだから、早く帰ればいいと。これでは、何の進捗にも

なりません。

それからメンタルヘルス対策ということですが、メンタルに支障抱えてらっしゃる方がかなりいらっしゃるのですか。こういう方がいたらいけないと思うのですが、正直申し上げて、ほとんどいらっしゃらないのに、大丈夫か、大丈夫か、と声をかける必要も私はないと思います。そういった声をすぐ拾い上げるような組織を作り、柔軟に声が上がってくるような体制にすればよいと思いますので、それをやっていただきたいと思います。育児休業取得と年次有給休暇の取得促進。これはやっていただきたいのですが、財政状況が厳しく大幅に職員を増員できません。

難しいです。自分のところで育児休業の人や、忙しいのに年次休暇を取得すると他の人のところにしわ寄せがくるなど、業務の推進上マイナスになる時もあります。

ですから先程ノー残業デーのところでも申しましたように、なぜこの育児休業を取るのか、あるいは年次有給休暇は、なんで取らなきゃいけないのか。取れと言うからとるのではない、育児休暇という権利があるから、子供がいるから休むのではない、根本的なところを部全体で理解しあって、意識し合わないと、不平不満の温床になります。

それから、「モノ」ですけれども、これはもう先ほど財政課長がおっしゃっていましたが、委託してあるものは、契約が切れたら検討。もう委託してあるものを途中で破棄するわけにはいきませんから、それはその通りです。はっきり申し上げて、八開庁舎や立田庁舎は、そのままになっていますけれども、あれだけ広さのあるものを民間の企業と共同開発して、高く売るとか、あるいは活用するとか、資産のより高度な運用と売却をどうやったらできるかということ、民間と一緒に考えてください。

それから「カネ」ですが、カネについては、8年後おそらくまずい状況になっているのではないかなと思います。これは別に愛西市だけが抱えている問題ではなくて、今、日本全体の地方都市が抱えている問題です。

高齢化になり、金も人も減って、税金も入ってこない。ふるさと納税が最初に出てきてはしょうがない。入ってくるかどうかかわからない、総務省からの制限も多い。

本当に合理的な行政運営をやった上で、本当に必要な金はどれくらいかということ、出を静止してから、それから入を徹底的に増やすということを考える。率直に言って申し訳ないですけど、私だったら、今行っている大型事業は完成したら売却です。行っているのは、しょうがないんですけど、今、ハコモノを作っている状況じゃないと思います。

進捗管理です。行政改革推進委員会はいいです。行政改革推進本部、市長を本部長とする部長級職員が設置した内部会議。これに、行政改革推進委員会の委員の参加をさせていただきたい。

具体的に、何をどういう風に話されているのか。どういう風に行政改革を進捗させようとしているか、皆さんの意識が本当に1つになっているのか、中に入って、お聞きしたい。

	<p>行政改革推進委員会と改革推進本部が両輪となってしっかりやっていかないと、より効率的な行政改革推進、愛西市の発展は望めないと思います。したがって、この行政改革推進本部について監視の意味でも、我々、行政改革推進委員会の委員を参加させて欲しい。これは要望でございます。以上いろいろ申し上げましたけれども、本当に愛西市を取り巻く環境というのは、愛西市だけではなくて、日本全国の問題ですけど、それに甘えるのではなく、1人1人がしっかりと自覚して、役割を果たしていくことによって解決していくことだと思います。これを機に、ぜひ皆さん、一体となって、愛知県の中で、きらりと光る愛西市というようなものにするべく、1人1人の皆さんの意識を徹底的にこの行政改革大綱に沿って、業務を行っていただきたいし、我々市民も、徹底的に応援させていただきたいと思います。以上です。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。では、次の方いかがでしょうか？</p>
委員	<p>はい。1点だけ逆なこと言うかもしれませんが、13ページのところで、人材育成、それとワーク・ライフ・バランスのところですけども、人を育てるには無駄が必要だと思っています。</p> <p>ある意味、あっていいと思っています。人間を育てる意味では無駄は必要なことだと思っています。</p> <p>これは自分の人生の中での結論です。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。では次の方お願いします。</p>
委員	<p>はい、財政の面では非常に私たちは心配をしております、本当に8年後はどうなるのかというのを注視しております。</p> <p>また、愛西市に住んでいて感じるのは、ものすごく市民に優しいなところなんです。例えば、他の市町村だと有料だったりするコミュニティバスが無料で乗れたり、小学校の子供の給食費についても補助をいただいたり、学童とかも、他の市に比べてやっぱり安く通わせていただくことができるので、市民にとってはありがたい、助かる部分がたくさんあります。ただそれで財政が逼迫してしまって、将来的に大変なことになってしまうというのは、やはり私たちは望んでいません。</p> <p>例えば公共施設についてもなくす、廃止する、統合廃止するってなると、市民からは反発も多く出ると思います、やはり箱物を維持するのはお金も財政もかなり逼迫すると思いますので、この辺りはしっかりと、なくすところはなくすというのを進めていただきたいと思います。</p> <p>収入の面でも、じゃあ、どこから収入を増やすのかというのを私が考えてもちょっと出てこないんで、ふるさと納税というのが書かれていると思います。</p> <p>財源を確保するというのも大変であり、本当にその辺りは危惧していると</p>

	<p>ころです。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスについてです。</p> <p>育児休暇ですとか、年次有給休暇です。やはりこれは、取るっていうのは権利と、取得される方も多いと思います。私も民間企業ですけども育児休暇、育児休業というのは取っています。休業、休職されている間、やはり人材を補填するというのは、大変だと思います。なので、1年間だけという会計年度職員で対応するというのが、先程のお話しになると思います。大変だと言うのは、私も分かっていますが、ただそれで取りにくい雰囲気や、権利と言って有給休暇取るのはどうかみたいな雰囲気になってしまうと、やはり職員の方のモチベーションも下がってしまいます。やはりこの辺りはきちんと取得しやすい環境を維持していただきたいと、個人的には思っています。</p> <p>窓口の開庁時間変更についても、先日市からのLINEにより拝見しました。12月から午後4時までということに変更されるということで、これもワーク・ライフ・バランスの一環なのかなと思っています。</p> <p>ただ、窓口の開庁が4時に変更になりますということが、なかなか市民の方全員に、行き渡るのには時間がかかるのではないかと思いますので、その辺り、市民の方への周知をお願いします。また、デジタル化っていうのはやはりコスト削減の意味でも、人件費削減の意味でも重要だとは思いますが、ご年配の方にとってはスマホが使えない、コンビニに行ってもなかなか住民票を取るのも大変という方もいるので、その辺りも柔軟に検討していただきたい。ワーク・ライフ・バランスの方も、しっかりとさせていただけるといいなと思っています。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。では、お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、また同じような事言うかもしれませんが、先ほど1ページ目のところを見ていただいたのですが、行革委員会が平成18年度からスタートということで、今年で大体20年近くやっている。</p> <p>その20年近く行革やってきて、何の成果があったということ、1回示してほしい。行革で何を議論してきたのか、どういう風に対応して、どのような成果があったかということ、簡単にまとめてお示ししていただきたいと思っています。それに合わせて、外郭団体の補助金について、第3次からこの委員をさせて頂いておりますけど、その時に補助金の金額が示されております。令和7年度の予算補助金額はいくらですか。観光協会、社会福祉協議会、商工会、シルバー人材センター、土地改良、スポーツ協会、どのように補助金額が推移してきたのか。どのように見直しをやっているのか、今の行政改革推進委員会に提示して頂きたいと僕は思っておりますので、是非ともこれを示して頂きたいと言います。</p> <p>それと、進捗管理についてです。このプラン、ドゥー、チェック、アクションと書いてあるのですが、その中の下の方で評価、検証とあります。行</p>

	<p>政改革推進委員会の名称を行政改革推進及び行政評価市民委員会という名称に変更し、市民の目からもチェックした形をしっかりとやって、どのように愛西市が行政に取り組んでいるのか、市の中だけで完結しているのではなくて、市民の目からどのようにチェックされるかという事もやらないと、市民の方もなかなか納得されないと思いますし、市民が集まった時には、こういう市民、委員の方からこういうチェックを受けていますという形であれば、全体の意見も通りますので、そういう事を是非ともやって頂きたいと思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。次お願いします。</p>
委員	<p>皆様がお話して頂いたことについて私も思うのですが、凄く限られたお金で行政が行われるので凄く大変だと思います。この計画通りに進まない事もたくさんあり、やっぱりお金がないというのが凄く見受けられるなと思います。行政サービスの効率化のためにどうしてもこうやって時間が短縮されたりとか、デジタル化を進められたりとかあると思うのですが、市民が置き去りにならないように、続けていって頂けるという風に思いました。以上です。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。では、次よろしくお願いします。</p>
委員	<p>今後 30 年以内に高い確率で発生すると言われている東南海地震の事を思いますと、維持管理の面で廃止する施設も必要かもしれませんが、ある程度は避難所としての施設、それから仮設住宅としての土地の確保はお願いしたいと思っております。</p>
会長	<p>なるほど、ありがとうございます。次お願いします。</p>
委員	<p>いろんな皆さんの意見があり行政改革となると、一昔前はやはりいかに効率化するとか、色んな無駄を削減するとかがすごく重視されてきたと思います。例えば職員もいっぱい減らし人件費を減らしていく事で、行政改革だという風に行ってきました。ただ時代も変わってきて、今の時代に合わせた形、もちろん色々と考えないといけないという事を考えると、様々な議論は出てきます。</p> <p>例えば、人材育成とか、先程から言われているワーク・ライフ・バランスなども含めて、いかに今いる職員を、ある程度働きやすい環境を作りつつ、守るといような視点も重要で、特に最近だと地方自治体でも、カスタマーハラスメントとかが深刻な問題になっているという話が出てきています。</p> <p>これはメンタルヘルスの対策の中の 1 つに含まれると思いますが、いかに職員が、カスタマーハラスメントに合う、もしかしたら経験がある方々も</p>

<p>会長</p>	<p>いるかもしれませんが、そういうところを対策して、今の職員がモチベーション高く働ける、人的資源を有効化するという点でも、守るということは、すごく大切で、これからの時代に必要になってくると思います。</p> <p>次に、例えば18ページの効率的な行政サービスと考えた場合、AIとかICTとか、いわゆるDXを加えてどんどん含めてやらなければいけない。それは、言ってしまうと業務効率化につながって、行政サービスにも、市民にとってもいい面が出てくると思います。昨日、自分の講義で、愛知県庁の方に来てもらって、講義をしていただいております、DX担当課長に来てもらい、いろんな話を聞きました。例えば愛知県では最近だと、実証的に、やれるとこだけまずやってみようみたいな取組を行っている。行政はどうしても確実に結果が出るものでなければ予算が使えないという感じがあると思います。でもやれるかどうか分からないが、とりあえず民間に聴いて部署と連携して、やれるところからまずやってみようみたいなところから、常に進めていくことで、少しずつDXとかが進んでいるという話があったりします。行政改革など色々なことを変えることは、反発も出てくると思うので、できるところから失敗してもいいじゃないという感じで進めていくのが、必要ではないかと思います。</p> <p>公共施設についてもすぐにはできる場所がもしかしたらあるかもしれないので、そこから少しずつ積み上げていき、成功を積み上げてくことで、職員や地域など色々なところの理解に繋がっていくと思います。以上です。</p> <p>はい、ありがとうございます。私はあんまり喋らないようにしようと思うので、一言だけ言うとしたら行政サービスを提供しなければいけない相手というのは誰かと言うと市民全員なのです。</p> <p>これが民間企業と決定的に違うところで、行政は全ての市民に対して行政サービスを提供しないといけない。全ての市民と向き合わないといけない。民間会社は向き合わなくても良い、お客さんを切り捨てることができますが、行政は絶対にできません。</p> <p>全ての方を対象に行政サービスを提供するのが行政の仕事だという。ここはやっぱり我々としても常に理解しておかなければいけないところと思っています。</p> <p>同時に、先ほど言われたように、全ての方に行政サービスを提供するのですが、カスハラに代表されるように、何を選ぶというのはとっても難しいのです。明らかに社会的な、妥当性から超えたような対応を求められた時には、それをある意味できないという風に言うことも僕はこれから必要だと思います。</p> <p>それは決して先ほど言った全ての方にサービスを提供すると言う大原則からはずれるものではなくて、全ての方に行政サービスを提供するためには不合理なことに対してそれは行政としてはできませんとはっきり言うことが前提になると思うので、そこがなかなかその行政改革というものと民間の会社で我が社の製品をいかに売ってですね、効率よく利益を上げていく</p>
-----------	--

	<p>ということとの決定的に違うところではないかと思うので、そこも理解しながら行政改革について議論をしないといけないです。</p> <p>そういう視点も忘れないようにしつつ、どうすればさらに良い行政改革ができるかという議論ができればいいかなと思います。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>皆さま方からご意見をいただきました。もちろんその難しさや、ご指摘があったように、もっときっちり成果を見せてほしい。</p> <p>これも大事な視点だと思います。また、財政のシミュレーションも含めて、最初に出すのは難しいかもしれませんが、それがあつた種、毎年毎年効果を出していくものだという風に、ある種のルーチン化すればできなくもないことかもしれません。</p> <p>ただ、先ほど言ったように、しつこいようですが、すべての市民を対象にしている行政なので、1つの尺度ですべての効率化は測れないというのも、理解しておかないといけないと思っています。</p> <p>同時に、委員の方からいっぱい質問や提案をいただきまして、基本的にはもっと頑張れという応援だという風に私は理解をしました。</p> <p>そのなかで、このまま文章だけ書いてはダメで、やっぱり内容をどうするかというのをもっと見せてくれるということを、幾度と言われたかなと思います。全体のスケジュールからいくと、今回のこの議論を踏まえて、今お手元にある行政改革大綱案を最終の案としてよろしいでしょうか。一度市民の皆さまにご意見を頂く俎上に載せるのが今日の我々の仕事なので、宿題がいくつか出ていますけれども、大綱の記述として、明らかにここがおかしいというご指摘はなかったと思います。</p> <p>今日のこれをもってパブコメにかけるということに際し、いかがでしょうか？いいですか？</p>
委員一同	はい【全員了承】
会長	はい。ご了解いただけたかなと思います。
委員	<p>すいません。静岡県が、財政危機宣言をしました。来年度の予算が640億の赤字だそうです。財政危機ということで、宣言したのですが、原因は何かと言うと、委託事業が相当多いということでした。来年度予算編成する時にそういう数字が出たと思いますので、愛西市もいつそんなことが起こりうるかというように思われますので、しっかり見ていただきたいと思います。</p> <p>また、愛西市が出している封筒について、藤色の封筒と茶封筒の価格を比べるため、業者にどれだけ金額が違うのか質問したところ3割安くなるそうです。だから、愛西市もそういうところでも削減しているなということを示し、取り組んでいるなということをやって行かないといけない。これは一つの考え方ですけど、よろしくをお願いします。</p>

会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>これで、パブコメにかけられる案として今日、ご了解をいただいたという風に理解したいと思います。</p> <p>宿題として、もっとデータを欲しいということに対しては事務局より次回になるかと思いますが、今年度に対応をいただければと思っております。</p>
会長	<p>4. その他</p> <p>今後のスケジュールについてお願いします。</p>
事務局	<p>(今後のスケジュールについて説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。今日はこれで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。</p>

欠席の山田 倫典、鈴木 幸子、大倉 菜々子、服部 磯和、稲垣 万貴子、平野 伸弥、神田 倫代については、会議録を送付し、会議の内容を共有します。